

コーパスに基づいた類義表現の分析
—「～たばかりだ」と「～たところだ」を例に—

建 石 始

A Corpus-based Analysis of Synonymous Expressions: *-ta bakari da* and *-ta tokoro da*

TATEISHI Hajime

要 旨

「～たばかりだ」と「～たところだ」はある行為が行われた直後という意味を持つ類義表現とされる。両形式の違いについて、これまでは母語話者の内省に基づいて分析されてきた。本稿では、実際のデータではどうなっているのかという問題意識のもと、コーパスを用いて両形式の特徴の違いを分析した。

具体的には、「～たばかりだ」は出現・変化を表す動詞と結びつきやすいのに対して、「～たところだ」は行為・活動・発話に関する動詞と結びつきやすい。また、「～たばかりだ」と「～たところだ」はいずれも直前の時を表す副詞と結びつきやすいことが明らかになった。さらに、「～たばかりだ」は名詞修飾で使われやすいのに対して、「～たところだ」は文末・言い切りで使われやすいことを主張した。

キーワード：～たばかりだ、～たところだ、コーパス、結びつく動詞、副詞、後の形式

Summary

The Japanese grammatical forms of “-ta bakari da” and “-ta tokoro da” are synonyms that express ‘just after’. Much of the research on these two forms is analyzed by the intuition of native speakers. The purpose of this paper is to analyze the differences of meaning and usage using the Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese (BCCWJ).

Based on the observation made from the corpus, “-ta bakari da” co-occurs with verbs that express appearance and change, whereas, “-ta tokoro da” is more likely to co-occur with verbs that express action, activity and utterance. Furthermore, this study observes that both of these two forms are likely to co-occur with adverbs that express events, which happened ‘immediately before’. Finally, this study serves to demonstrate “-ta bakari da” is used when modifying nouns, while “-ta tokoro da” is used in the sentence final position.

Keywords: -ta bakari da, -ta tokoro da, corpus, co-occurring verbs, adverb, following forms

1. はじめに

「～たばかりだ」と「～たところだ」はある行為が行われた直後という意味を持つ類義表現とされる。両形式の違いについて、これまでは母語話者の内省に基づいて分析されてきた。本稿では、実際のデータではどうなっているのかという問題意識のもと、コーパスを用いて両形式の特徴の違いを分析する。また、それによって、コーパスに基づいた類義表現の分析方法を提案したい。

以下、2節では「～たばかりだ」と「～たところだ」に関する先行研究を概観し、問題の所在を明らかにする。3節でコーパスを用いた「～たばかりだ」と「～たところだ」の調査方法と調査結果を述べ、4節で両形式の違いについて、結びつく動詞の種類、共起する副詞、後に続く形式の観点から分析を行う。5節はまとめである。

2. 先行研究と問題の所在

2.1 「～たばかりだ」と「～たところだ」の先行研究

日本語教育の現場では、「～たばかりだ」と「～たところだ」の違いがしばしば問題になる。例えば、市川（2005）は（1）と（2）の違いについて、「動詞タ形+ところだ」が、「その動作がたった今終了したこと」に焦点が置かれるのに対し、「動詞タ形+ばかりだ」は、「その動作が終了して、あまり時間がたっていないこと」に焦点が置かれます。」(p. 235)と指摘している。

(1) 今仕事が終わったところです¹⁾。

(2) 今仕事が終わったばかりです。 (いずれも市川 2005:234-235)

また、「～たばかりだ」は「～ばかりで」、「～ばかりなので」、「～ばかりだから」、「～ばかりなのに」という形で理由や逆接を表すことが多いということ、「～たばかりだ」は「さっき」、「今」という副詞がよく使われ、「～たところだ」は「今」、「たった今」という副詞がよく使われるということも指摘されている。

グループ・ジャマシ編（1998）は「～たばかりだ」について、「動作が完了してから、時間があまりたっていないことを表す。動作の直後でなくても、話し手にとって時間がたっていないと感じる場合にも使える」(p. 494)と指摘し、以下のような例文をあげている。

(3) さっき着いたばかりです。

(4) このあいだ買ったばかりなのに、テレビが壊れてしまった。

(5) 山田さんは一昨年結婚したばかりなのに、もう離婚を考えているらしい。

(グループ・ジャマシ編 1998:494)

1) 例文番号は本稿の通し番号に改編した。また、下線は筆者による。以下、同じである。

「～たところだ」については、「動作・変化がその「直後」の段階にあることを表す。「今、さっき、ちょっと前」などの、直前の時を表す副詞と共に用いられることが多い」(p. 331)と指摘し、(6)(7)のような例文をあげている。

(6) 今帰ってきたところ です。

(7) 電話したら、あいにくちょっと前に出かけたところだった。

(グループ・ジャマシイ編 1998:331)

庵他(2001)は「「～たばかりだ」は単に何らかの出来事の直後であることを表すのに対し、「～たところだ」には新たな動作・出来事に移る前の段階というニュアンスがあります。」(p. 98)として、次のような例を提示している。

(8) この子は一昨日 {○生まれたばかりです / ?生まれたところです}。

(9) 今電車で {○乗ったところです / ?乗ったばかりです} ので、会社に着くまでにはあと30分ぐらいかかります。(いずれも庵他 2001:98)

(8)で「～たところだ」が不自然なのは次の段階が想定しにくいから、(9)で「～たところだ」のほうが使いやすいのは「電車に乗る→会社に着く」というプロセスが読み取りやすいからだとしている。

川越(1995)は「～たところだ」も「～たばかりだ」も出来事が起こった直後を示すことに変わりはないが、「～たところだ」はその時点を示すことに重点があるのに対して、「～たばかりだ」は直後の状態として予想される事態を念頭に置いた表現であると結論づけている。また、「～たばかりだ」は(10)や(11)のような「～たばかりの」になり、小説やシナリオのト書きとして言い切りの形よりも多用されることも指摘している。

(10) 「この春に同じ小学校へ入学したばかりの娘がおります」

(11) 帰ってきたばかりのさとみ、慌てて電話を取る。(いずれも川越 1995:206)

前田(2001)では、主文末に現れる「～たばかりだ」と「～たところだ」の違いについて、(i)明らかに過去の時間を表す副詞句が現れた場合、「～たところだ」は使えないことが述べられている。

(12) 二時間前に終わった {*ところ / ばかり} です。

また、(ii)「～たところだ」は動作が終了した直後を表すが、「～たばかりだ」は直後とは言えない場合にも使われる。

(13) このカバンは1年前に買ったばかりです。

さらに、(iii)「まだ」が現れた文では「～たところだ」は使いにくく、(iv)「やっと」が現れた文では、「～たばかりだ」は使いにくい。

(14) この本はまだ買った {*ところ／ばかり} です。

(15) やっと終わった {ところ／?ばかり} です。

また、(v) 動作・出来事が終結した瞬間を特定しにくい動詞は「～たところだ」が使えない。

(16) 私は結婚したばかりだ。

(17) うちの娘は大学生になったばかりだ。

その他にも、(vi)「～たばかりだ」は名詞を修飾することができるが、「～たところだ」は名詞を修飾することができないといったことが指摘されている。

(18) 結婚した {ばかりの／*ところの} 妹

スリーエーネットワーク編 (2001) では、「[～たところ] も [～たばかり] もある行為が行われた時間的「直後」を表すが、「～たばかり」は、時間のとらえ方が話し手の心理、意識に基づく」(p. 190) とされ、「[～たばかり] は発話の時点から見て、さほど時間が経過していないと話し手を感じれば、「きのう」「先週」「先月」「去年」、場合によっては「3年まえに」さえ用いられる」(p. 191) と指摘されている。

(19) この家は3年まえに買ったばかりなのに、地震で壊れてしまいました。

「～たばかりだ」は時間のとらえ方が話し手の心理や意識に基づいているため、(19) のようにならかなり時間が経過したことを表す「3年まえに」という副詞が用いられている。

また、「～たばかりだ」は言外の意味が含まれることも述べられている。

(20) 先月会社に入ったばかりですから (=新人である)

(21) 先週買ったばかりなのに (=まだ新しい)

(20) では「入ったばかり」から「新人である」という意味、(21) では「買ったばかり」から「まだ新しい」という意味が言外に含まれているということである。

実際の指導において、「～たばかりだ」は直後に (22) のような「～たばかりなのに」が導入されるが、「～たばかりなのに」の練習の前には、逆接の「のに」の意味・機能をよく思い

出させることが必要であると記述されている。

(22) きのう覚えたばかりなのに、忘れてしまいました。

2.2 問題の所在

ここまで「～たばかりだ」と「～たところだ」に関する数多くの先行研究を概観してきた。両形式の違いについて、先行研究でさまざまなことが指摘されていたが、それではいったいどの指摘が妥当なのだろうか。全ての指摘が直感的には納得できるものであったが、実際のデータではどのようになっているのだろうか。また、日本語教科書における指導内容や指導方法は実際のデータに合っているのだろうか。

以上のような問題提起を念頭に置いて、3節以降ではコーパスを用いて「～たばかりだ」と「～たところだ」の分析を行う。

3. 「～たばかりだ」と「～たところだ」の調査方法と調査結果

3.1 『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』

本稿では、コーパスとして国立国語研究所による『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ : Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese)』を使用した。これは国立国語研究所の KOTONOHA 計画の中に位置づけられた1億語規模のコーパスで、新聞、雑誌、書籍、白書、Yahoo! 知恵袋、学校教科書などを対象として収録している。本稿の内容は2011年に正式版が公開される前の調査が中心となっているため、2009年度版 (モニター公開版) のデータを使用している。2009年度版 (モニター公開版) は書籍が約3,000万語、白書が約480万語、Yahoo! 知恵袋が約520万語、国会会議録が約490万語の合計4,520万語で構成されている。

3.2 「～たばかりだ」の調査方法と調査結果

本研究の調査方法であるが、検索ソフト「ひまわり」で「～たばかり」、「～だばかり」、「～たばかり」、「～だばかり」という文字列を検索した。

「～たばかり」は1,926件、「～だばかり」は43件、「～たばかり」は43件使用されており、「～だばかり」は使用されていなかった。そのうち、「～たばかり」が動詞と結びついていない以下のような例は除外した。

(23) そこで、もう一つ大蔵省に伺いますが、あなたばかり責めるわけじゃないんですけども、恩給法には五十一条に受給資格の喪失というのがありますね。

(24) てまえなんかいくらからだばかりふとつても、こんなことはできまい。

その結果、1,995件の「～たばかりだ」を収集した。1,995件の「～たばかりだ」について、一つ一つ例文を見て、それがどのような用法を表しているのかを確認した。そして、(25) のような累加を表す「～たばかりか」、(26) のような悪い結果を表す「～たばかりに」などを除

外し、直後を表す「～たばかりだ」のみを収集した。

- (25) 彼の渾身の力をふりしぼっての押し上げがなければ、耕耘機が下の水田に転落したばかりか、稲の苗を潰してしまったところだった。
- (26) この患者さんは何と術後わずか二か月で亡くなってしまったのです。急いで検査、手術をしたばかりに、結果的に無駄な手術を受けてしまったのです。

以上の作業の結果、直後を表す「～たばかりだ」として1,753件を収集した。

3.3 「～たところだ」の調査方法と調査結果

「～たばかりだ」と同様に、検索ソフト「ひまわり」で「～たところ」、「～だところ」という文字列を検索した。

「～たところ」は7,935件、「～だところ」は182件使用されていた。そのうち、「～たところ」が動詞と結びついていない以下のような例は除外した。

- (27) 大正十四年の東京は、二年前に受けた大震災の痛手からようやく立上ったばかり、まだところどころに荒廃した風景も残っている。
- (28) ぼくは、反対側の屋敷まで戻って、そこにいた新津に話を聞き、自分が刑事たちにかかわれたことに気づかされた。とんだところで、余計な時間を使ってしまったものだった。

その結果、8,112件の「～たところだ」を収集した。8,112件の「～たところだ」について、一つ一つ例文を見て、それがどのような用法を表しているのかを確認した。そして、(29)のような逆接を表す「～たところが」、(30)のような逆接・仮定を表す「～たところで」などを除外し、直後を表す「～たところだ」のみを収集した。

- (29) 東京田端の芥川の家を、夕方に訪ねたところが、長い間二階の書齋に待たされた。
- (30) 「このままじゃ、どちらかの牛が死ぬ。早く止めろ！」牛の持主らしいのが叫んだが、叫んでみたところでどうなるというものではない。

以上の作業の結果、直後を表す「～たところだ」として1,365件を収集した。

4. 「～たばかりだ」と「～たところだ」の違い

4.1 結びつく動詞の種類

4.1.1 「～たばかりだ」が結びつく動詞の種類

直後を表す1,753件の「～たばかりだ」について、どのような動詞が結びついているのかを調査した。直後を表す「～たばかりだ」が結びつく動詞をまとめると、表1のようになる。

表1 直後を表す「～たばかりだ」が結びつく動詞

順位	動詞	件数	順位	動詞	件数	順位	動詞	件数
1	なる	123 (7.0%)	8	帰る	33 (1.9%)	15	卒業する	16 (0.9%)
2	始める	89 (5.1%)	9	入る	31 (1.8%)	16	結婚する	15 (0.9%)
3	生まれる	88 (5.0%)	10	過ぎる	26 (1.5%)	17	知り合う	14 (0.8%)
4	来る	69 (3.9%)	11	できる	24 (1.4%)	18	言う	11 (0.6%)
5	始まる	59 (3.4%)	12	会う	18 (1.0%)	18	完成する	11 (0.6%)
6	出る	40 (2.3%)	12	終わる	18 (1.0%)	18	聞く	11 (0.6%)
7	買う	35 (2.0%)	12	着く	18 (1.0%)	18	見る	11 (0.6%)

最も多いものが「なる」(123件)で、以下、「始める」(89件)、「生まれる」(88件)、「来る」(69件)、「始まる」(59件)が続いている。表1に掲載されている動詞を観察すると、上位の動詞には状態変化や位置変化などの変化を表すという共通点が考えられる。その他にも、表1には掲載していないが、補助動詞の「～てくる」が使用されやすい(97件、5.5%)という特徴も見られた。

4.1.2 「～たところだ」が結びつく動詞の種類

直後を表す1,365件の「～たところだ」について、どのような動詞が結びついているのかを調査した。直後を表す「～たところだ」が結びつく動詞をまとめると、表2のようになる。

表2 直後を表す「～たところだ」が結びつく動詞

順位	動詞	件数	順位	動詞	件数	順位	動詞	件数
1	する	110 (8.1%)	8	進める	18 (1.3%)	15	開始する	13 (1.0%)
2	行う	106 (7.8%)	9	取りまとめる	17 (1.2%)	15	指導する	13 (1.0%)
3	図る	63 (4.6%)	10	ある	16 (1.2%)	15	提出する	13 (1.0%)
4	努める	37 (2.7%)	10	(ことと)する	16 (1.2%)	18	指示する	12 (0.9%)
5	講じる	36 (2.6%)	12	指摘する	14 (1.0%)	18	示す	12 (0.9%)
6	申し上げる	34 (2.5%)	12	推進する	14 (1.0%)	18	入る	12 (0.9%)
7	実施する	26 (1.9%)	12	なる	14 (1.0%)			

最も多いものが「する」(110件)で、以下、「行う」(106件)、「図る」(63件)、「努める」(37件)、「講じる」(36件)が続いている。表2に掲載されている動詞を観察すると、上位の動詞には行為や活動を表すという共通点が考えられる。また、「～たところだ」は「申し上げる」や「指摘する」などの発話に関する動詞とも結びつきやすい。

さらに、「図る」、「努める」、「取りまとめる」など、他の分析項目では見られないような動詞とも結びついていたので、ジャンルを確認したところ、「国会会議録」と「白書」に多く見られるという特徴があった。そこで、「～たところだ」が結びつく動詞のうち、「国会会議録」と「白書」というジャンルを除いたものを表3として提示する。

表3 直後を表す「～たところだ」が結びつく動詞（国会会議録・白書を除く）

順位	動詞	件数	順位	動詞	件数	順位	動詞	件数
1	する	110 → 39	8	進める	18 → 0	15	開始する	13 → 0
2	行う	106 → 1	9	取りまとめる	17 → 0	15	指導する	13 → 0
3	図る	63 → 0	10	ある	16 → 0	15	提出する	13 → 1
4	努める	37 → 0	10	(ことと)する	16 → 3	18	指示する	12 → 0
5	講じる	36 → 2	12	指摘する	14 → 0	18	示す	12 → 0
6	申し上げる	34 → 0	12	推進する	14 → 0	18	入る	12 → 12
7	実施する	26 → 0	12	なる	14 → 7			

「する」(110件→39件)、「なる」(14件→7件)、「入る」(12件→12件)以外の動詞は、いずれも3件以下に減少しており、0件になったものも数多く存在する。このことから、直後を表す「～たところだ」と結びつく動詞が「国会会議録」や「白書」に出現しやすいことは明らかである。

4.1.3 まとめ

ここまでの分析をまとめると、直後を表す「～たばかりだ」は「なる」、「始める」、「生まれる」、「来る」、「始まる」、「出る」などの出現や変化を表す動詞と結びつきやすいのに対して、直後を表す「～たところだ」は「する」、「行う」、「図る」、「講じる」、「実施する」、「進める」などの行為や活動を表す動詞や「申し上げる」、「指摘する」などの発話に関する動詞と結びつきやすいことが分かった。また、「～たところだ」は「国会会議録」や「白書」に出現しやすいことも明らかになった。

4.2 共起する副詞

4.2.1 「～たばかりだ」と共起する副詞

直後を表す1,753件の「～たばかりだ」について、どのような副詞が共起しているのかを調査した。直後を表す「～たばかりだ」と副詞が共起していたものは合計651件あり、これは全体の37.1%に相当する。直後を表す「～たばかりだ」と共起する副詞をまとめると、表4のようになる。

表4 直後を表す「～たばかりだ」と共起する副詞

順位	副詞	件数	順位	副詞	件数
1	まだ	112 (17.2%)	9	ようやく	16 (2.5%)
2	今	99 (15.2%)	10	やっと	15 (2.3%)
3	最近	52 (8.0%)	11	当時	14 (2.2%)
4	昨日	28 (4.3%)	12	この間	13 (2.0%)
4	さっき	28 (4.3%)	13	今しがた	8 (1.2%)
6	ちょうど	23 (3.5%)	13	今朝	8 (1.2%)
7	今日	18 (2.8%)	13	先程	8 (1.2%)
8	先日	17 (2.6%)			

最も多いものが「まだ」(112件)で、以下、「今」(99件)、「最近」(52件)、「昨日」(28件)、「さっき」(28件)が続いている。表4からも分かるように、直後を表す「～たばかりだ」は市川(2005)で指摘されていた「今」や「さっき」といった直前の時を表す副詞と共起しやすいことが分かる。

ただし、前田(2001)では「やっと」が現れた文では「～たばかりだ」は使いにくいとされていたが、実際には15件も使用されていた。

- (31) わたしはやっと十五になったばかりだけれど、十七歳と言ってもつうじるかもしれない。
- (32) 当時、私たちの住んでいた小さな家は、数年前に八〇〇ドルを分割支払いで買って、三人の働きで少しずつ返済して、やっと自分たちのものになったばかりだった。

(31) や (32) のように、「やっと」は直後を表す「～たばかりだ」とも共起することは可能である。

また、グループ・ジャマシイ編(1998)や前田(2001)、スリーエーネットワーク編(2001)で指摘されている「去年」や「3年前」といったかなり前の時間を表す副詞とはあまり共起していなかった。表4は上位15語しか掲載していないが、さらに範囲を広げても、かなり前の時間を表す副詞はそれほど出てこない。

表5 直後を表す「～たばかりだ」と共起する副詞（2件以上）

順位	副詞	件数	順位	副詞	件数	順位	副詞	件数
16	今年	5	26	この4月	3	35	昨年	2
16	数カ月前	5	26	この春	3	35	3年前	2
16	少し前	5	26	先ごろ	3	35	4月	2
19	去年	4	26	数日前	3	35	先刻	2
19	今年(の)春	4	26	先月	3	35	前年	2
19	この前	4	26	先週	3	35	春	2
19	昨夜	4	26	2ヶ月ほど前	3	35	半年前	2
19	前日	4	26	1ヵ月ほど前	3	35	三日前	2
19	その頃	4	35	1週間前	2	35	4ヶ月前	2
19	その時	4	35	昨日今日	2			
26	一昨日	3	35	今期	2			

出現頻度が2件以上のものに範囲を広げてみても、出てくるのはゴシック体で示した「数カ月前」（5件）、「去年」（4件）、「昨年」（2件）、「3年前」（2件）、「前年」（2件）、「半年前」（2件）といったものぐらいで、とりわけ出現頻度が高いということはないようである。

4.2.2 「～たところだ」と共起する副詞

直後を表す1,365件の「～たところだ」について、どのような副詞が共起しているのかを調査した。1,365件の「～たところだ」と副詞が共起していたものは合計354件あり、これは全体の26.0%に相当する。直後を表す「～たところだ」と共起する副詞をまとめると、表6のようになる。

表6 直後を表す「～たところだ」と共起する副詞

順位	副詞	件数	順位	副詞	件数
1	今	79 (22.3%)	8	さっき	8 (2.3%)
2	ちょうど	43 (12.1%)	8	従来	8 (2.3%)
3	ようやく	19 (5.4%)	8	先日	8 (2.3%)
4	先般	11 (3.1%)	11	やっと	5 (1.4%)
5	昨日	10 (2.8%)	12	最近	4 (1.1%)
5	すでに	10 (2.8%)	12	その時	4 (1.1%)
7	先程	9 (2.5%)	12	まさに	4 (1.1%)

最も多いものが「今」（79件）で、以下、「ちょうど」（43件）、「ようやく」（19件）、「先般」（11件）、「昨日」（10件）、「すでに」（10件）が続いている。表6からも分かるように、直後を表す「～たところだ」は市川（2005）で指摘されていた「今」や「さっき」などの直前の時を表す副詞が共起しやすい。

また、前田（2001）で指摘されていたように、直後を表す「～たところだ」は「まだ」が現れた文では使いにくい。直後を表す「～たところだ」と結びついていた「まだ」は次のものだけであった。

(33) まだ、午後3時を回ったところだ。

さらに、直後を表す「～たところだ」は(34)(35)のように、「昨日」や「先日」といった明らかに過去の時間を表す副詞句が現れた場合でも使われるが、「～年前」「～ヶ月前」「～日前」といった副詞とは結びついていなかった。

(34) 吉村：「優駿」の先月号なのですが。

中西：ああ、昨日入れ替えて返品したところですね。ご注文になりますか？

(35) 謙信は先日、越中陣から帰国したところだった。

4.2.3 まとめ

直後を表す「～たばかりだ」と「～たところだ」のいずれも、直前の時を表す副詞と共起しやすい。表4と表6を比べても分かるように、「今」、「ちょうど」、「ようやく」、「昨日」、「先程」、「さっき」、「先日」など、重なっているものが多数見られる。直後を表す「～たばかりだ」と「～たところだ」では、共起する副詞についてはそれほど大きな違いがないと言える。

4.3 後に続く形式

4.3.1 「～たばかりだ」の後に続く形式

直後を表す1,753件の「～たばかりだ」について、後にどのような形式が続くのかを調査した。直後を表す「～たばかりだ」の後に続く形式をまとめると、表7ようになる。

表7 直後を表す「～たばかりだ」の後に続く形式

順位	後に続く形式	件数	順位	後に続く形式	件数
1	の	918 (52.4%)	10	だから	24 (1.4%)
2	で	171 (9.8%)	11	、	16 (0.9%)
3	だった	59 (3.4%)	11	であった	16 (0.9%)
4	だ。	52 (3.0%)	13	じゃないか	13 (0.7%)
5	です。	49 (2.8%)	14	だが	11 (0.6%)
6	なのに	41 (2.3%)	14	だというのに	11 (0.6%)
7	である。	40 (2.3%)	14	ですが、	11 (0.6%)
8	。	29 (1.7%)	14	なのだ。	11 (0.6%)
9	なので	28 (1.6%)	18	という	10 (0.6%)

最も多いものが「の」(918件)で、以下、「で」(171件)、「だった」(59件)、「だ。」(52件)が続いている。表7からも分かるように、直後を表す「～たばかりだ」の半数以上が「～の」という形式になっている。川越(1995)や前田(2001)に「～たところだ」とは異なり、「～たばかりだ」は名詞を修飾することができるという指摘があり、川越(1995)には小説やシナリオのト書きとして言い切りの形よりも多用されるという指摘があるが、実際の使用例の半数以上が「～たばかりの」となっていることまでは指摘されていない。

市川(2005)は「～ばかりで」、「～ばかりなので」、「～ばかりだから」、「～ばかりなのに」という形で理由や逆接を表すことが多いと指摘していたが、「～ばかりで」は件数が多いものの、「～ばかりなので」、「～ばかりだから」、「～ばかりなのに」はそれほど多くないことが分かる。また、日本語教育の現場でよく使用される「買ったばかりなのに」は(36)のような1件のみであった。

(36) ニンテンドーDSを買ったばかりなのに、PSPを欲しいといいます。

なお、直後を表す「～たばかりだ」の後に続く形式を意味・機能別にまとめ直したものが表8である。

表8 直後を表す「～たばかりだ」の後に続く意味・機能

順位	意味・機能	件数	順位	意味・機能	件数
1	名詞修飾	927 (52.9%)	5	逆接・前置き	102 (5.8%)
2	文末・言い切り	328 (18.7%)	6	引用	46 (2.6%)
3	順接・並列	196 (11.2%)	7	主題	38 (2.2%)
4	原因・理由	133 (7.6%)	8	疑問	21 (1.2%)

4.3.2 「～たところだ」の後に続く形式

直後を表す1,365件の「～たところだ」について、後にどのような形式が続くのかを調査した。直後を表す「～たところだ」の後に続く形式をまとめると、表9のようになる。

表9 直後を表す「～たところだ」の後に続く形式

順位	後の形式	件数	順位	後の形式	件数
1	でございます。	329 (24.1%)	10	ございまして、	33 (2.4%)
2	である。	253 (18.5%)	11	であります、	27 (2.0%)
3	であります。	109 (8.0%)	12	。	20 (1.5%)
4	であり、	100 (7.3%)	13	でございますけれども、	16 (1.2%)
5	であるが、	88 (6.4%)	13	であった。	16 (1.2%)
6	だった。	79 (5.8%)	15	でありますけれども、	13 (1.0%)
7	です。	55 (4.0%)	15	ですが、	13 (1.0%)
8	でございますが、	50 (3.7%)	17	で、	11 (0.8%)
9	だ。	43 (3.2%)	18	でありまして、	10 (0.7%)

「～たばかりだ」とは異なり、半数近くが同じ形式ということにはなかった。直後を表す「～たところだ」の後に続く形式を意味・機能別にまとめ直したものが表10である。

表10 直後を表す「～たところだ」の後に続く意味・機能

順位	意味・機能	件数	順位	意味・機能	件数
1	文末・言い切り	940 (68.9%)	5	引用	7 (0.5%)
2	逆接・前置き	219 (16.0%)	6	名詞修飾	4 (0.3%)
3	順接・並列	165 (12.1%)	7	疑問	2 (0.1%)
4	原因・理由	28 (2.1%)			

直後を表す「～たところだ」が最も多く使われているのは文末・言い切りであり、「～たばかりだ」のように名詞修飾に用いられることはほとんどなかった。

4.3.3 まとめ

以上をまとめると、直後を表す「～たばかりだ」が最も多く使われているのは名詞修飾で、「～たばかりなので」、「～たばかりだから」、「～たばかりなのに」はそれほど使われていない。直後を表す「～たところだ」が最も多く使われているのは文末・言い切りで、名詞修飾に用いられることはほとんどないと言える。

5. おわりに

本稿では、コーパスを用いて直後を表す「～たばかりだ」と「～たところだ」の違いについて分析を行った。「～たばかりだ」は出現・変化を表す動詞と結びつきやすいのに対して、「～たところだ」は行為・活動・発話に関する動詞と結びつきやすい。また、「～たばかりだ」と「～たところだ」のいずれも直前の時を表す副詞と結びつきやすいことが明らかになった。さらに、「～たばかりだ」は名詞修飾で使われやすいのに対して、「～たところだ」は文末・言い切りで使われやすいことを主張した。

本稿では、両形式に結びつく動詞、副詞、後の形式を分析したが、モダリティ表現や後の文の内容まで考察を進める必要がある。また、今回は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』のモニター版を使用した。今後は「中納言」などを使って正式に公開されたものを使った分析も必要となる。さらに、書き言葉コーパスだけでなく、話し言葉コーパスを使った分析も行わなければならない。

参考文献

- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘 (2001) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 市川保子 (2005) 『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク
- 岡本牧子・沢田幸子・安田乙世 (2009) 『はじめて日本語を教える人のための なっとく しっとく 初級文型50』スリーエーネットワーク
- 川越菜穂子 (1995) 「トコロダとバカリダ」『日本語類義表現の文法 (上) 単文編』 pp. 204-209、くろしお出版
- 金水敏・工藤真由美・沼田善子 (2000) 『時・否定ととりたて』岩波書店
- グループ・ジャマシイ編 (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
- スリーエーネットワーク編 (2001) 『みんなの日本語初級Ⅱ 教え方の手引き』スリーエーネットワーク
- 建石始 (2011) 「非現場指示のア系と結びつく名詞の特徴」森篤嗣・庵功雄編『日本語教育文法のための多様なアプローチ』 pp. 189-208、ひつじ書房
- 中俣尚己 (2011) 「コーパス・ドライブン・アプローチによる日本語教育文法研究—「である」と「ておく」を例として—」森篤嗣・庵功雄編『日本語教育文法のための多様なアプローチ』 pp. 215-233、ひつじ書房
- 中俣尚己 (2012) 「コーパスに基づいた語彙情報つき文法ハンドブックの構想」『実践国文学』 81、 pp. 64-71、実践国文学会
- 中俣尚己 (2014) 『文法コロケーションハンドブック』くろしお出版
- 中村重穂 (1999) 「再び、「～たばかり」について—意味論的観点から—」『北海道大学留学生センター紀要』 第3号、 pp. 30-54、北海道大学
- 日本語記述文法研究会編 (2007) 『現代日本語文法3 アスペクト・テンス・肯否』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会編 (2008) 『現代日本語文法6 複文』くろしお出版
- 前田直子 (2001) 「「～したところだ」と「～したばかりだ」」『東京大学留学生センター紀要』 第11号、 pp. 29-44、東京大学
- 益岡隆志・田窪行則 (1992) 『基礎日本語文法—改訂版—』くろしお出版
- 森篤嗣 (2011) 「『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 コアデータにおける初級文法項目の出現頻度」森篤嗣・庵功雄編『日本語教育文法のための多様なアプローチ』 pp. 57-78、ひつじ書房
- 森篤嗣・庵功雄編 (2011) 『日本語教育文法のための多様なアプローチ』 ひつじ書房

森山卓郎 (1983) 「～ばかりだ／～ところだ」『日本語学』3-10、pp. 13-20、明治書院
吉川武時編 (2003) 『形式名詞がこれでわかる』 ひつじ書房

謝 辞

本稿は「日本語教育国際研究大会 名古屋2012」でのパネルセッション「実質語との共起に着目するコーパスを用いた文法研究—明日から教室で使える情報を見つける方法—」における発表「「たばかりだ」と「たところだ」」の内容に加筆・修正を加えたものである。当日は多くの方から貴重なコメントをいただいた。また、パネルセッションの共同発表者である中俣尚己氏、清水由貴子氏からも有益な示唆をいただいた。なお、本稿を執筆するにあたり、研究費の一部として、神戸女学院大学研究所による2015年度研究助成（研究課題：コーパスに基づいた類義表現の分析）の交付を受けた。いずれもここに記して感謝したい。

(原稿受理日 2016年2月21日)